

## 実践 住宅用火災警報器を設置しよう

※実際に住警器マンは家を訪問しての設置は行いません。

### STEP 1

住宅用火災警報器を購入する

ホームセンターや家電量販店で1個2,000円～3,000円くらいで購入できます。

※機能により価格が異なります。



### STEP 2

住宅用火災警報器を設置する場所は？



火災死者数は就寝時間帯に多いため、普段寝室として使用している部屋に設置します。2階に寝室がある場合は、階段にも設置しなければなりません。(台所は設置義務はありませんが、火災の可能性が高いので設置をお勧めします)天井取り付けタイプは、警報機の中心を壁やはりから60cm以上、またはエアコンなどの空気吹き出し口から1.5m以上離して取り付けます。また、壁掛けタイプは天井から15～50cm以内に取り付けます。

### STEP 3

住宅用火災警報器を設置する



取り付ける際は椅子や脚立に乗り、ドライバーを使用し固定します。

### 注目 「いざ」というときのために点検・お手入れを



住警器は電池が切れると作動なくなります。定期的に(月に1回程度)ボタンを押したり、ひもを引いたりして点検しましょう。

### 注意 悪質な訪問販売にご注意ください

自宅を訪問して「消防署の方から来ました。住宅用火災警報器を設置しないと罰金ですよ」などと不安をあおり、高額な値段で住警器を売りつける事例が発生しています。消防職員が販売や部屋に入って確認・点検をすることはありません。また、設置しなくても罰則はありません。もし、だまされて購入してしまったと思った場合は、消費生活センターにご相談ください。なお、住警器はクーリングオフの対象商品になっています。



# 住宅用火災警報器

浮き城消防住警器マンが設置方法などを解説します

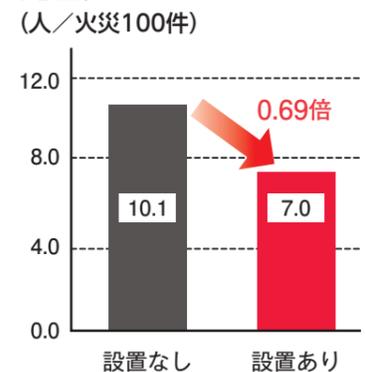
平成23年6月1日から新築・既存を問わず全ての住宅に住宅用火災警報器(以下「住警器」)の設置が義務付けられています。皆さんは住警器を設置していますか。

今月は、住警器設置をPRするために消防本部で結成された「浮き城消防住警器マン」(以下「住警器マン」)が、住警器の設置場所や設置方法などを紹介します。



今年度結成された「住警器マン」は、行田浮き城まつりや11月にイオンモール羽生で開催された埼玉県女性消防団員の日創設記念FESなどのイベントに積極的に参加し、住警器設置を呼び掛けています。

### 住宅火災100件当たりの死者数



住宅用火災警報器は、住宅火災から命を守る切り札

全国の住宅火災による死者は、毎年約1千人。そのうち、約6割が「逃げ遅れ」によるものです。

火災による煙を感知し、音や音声で火災の発生を知らせてくれる住警器を設置することで、逃げ遅れによる犠牲者の発生を防ぎ、火災による被害を最小限にすることができま

す。そのことを裏付けるため、消防庁が平成24年～26年の失火を原因とした住宅火災について住警器の効果分析。その結果、死者数を見ると住警器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者の発生は0.69倍となっていました(左図参照。つまり、住警器を設置すれば、火災発生時の死亡リスクが減少できるのです。

自分自身や大切な家族の命を住宅火災から守るための切り札として、住警器を設置してください。